

コンサートレポート

シニアアンサンブル千葉県連盟 南ブロック交歓会開催報告 (2019/12/22)

千葉県内に本拠地を置くシニアアンサンブル楽団によって、2008年10月にシニアアンサンブル千葉県連盟(以下県連と称す)が発足し、2018年に、10周年を迎えました。これを記念して、①10周年記念誌の発行と②県下を東・西・南の3ブロックに分けたブロック交歓会の開催が県連の理事会においてまきました。昨年は、10周年記念誌(50頁)が編纂され、南ブロック交歓会が開催されました。実は、千葉県内のシニアアンサンブルによる交歓会は今回が初めてではなく、2010年9月に当時の5楽団が集まり千葉の京成ホテルで開催されています。

現在千葉県には13楽団あり、南ブロックに入るのは、市原、東金、上総、君津の4楽団です。最年長の市原が今回の当番ということで、市原の団員4人が各団の実情や様々な意見を調整し、計画・準備・実施まで全て行いました。当初の予定日、9/22(日)が台風のため延期となり、12/22(日)に袖ヶ浦市の長浦公民館多目的室で開催できました。4楽団が多目的室の4辺の壁を背に座って対面し、演奏して互いに聞き合う配置でした。

午前中はリハーサルを行い、午後12時50分から挨拶、その後、4楽団が、順に約30分の持ち時間で5~6曲の演奏を披露しあいました。途中、市原・上総・君津から集まった4人による、サクソアンサンブルの演奏があり、また、東金の演奏では、ギターとマンドリンだけのアンサンブル演奏があり、花を添えてくれました。最後に、「タンゴカプリ島」を合同演奏しました。演奏後は、部屋を移し、懇親会を行いました。各テーブルにパートごとに座るようにしました。今回の参加費は、会場費が無料なので、懇親会の菓子代200円/人だけでした。

参加した方の感想は、「他の三つのアンサンブルの演奏を間近で、聞きあえる機会などめったにないので楽しかった。」とか、「楽器の構成の違いで、演奏曲が変わるのに興味が湧いた」、「間近に演奏者が見え、音が聞こえて、面白かった」など。また、懇親会はパートが同じなので、音の出し方や指の使い方など、技術的な内容の交流で盛り上がっていたようでした。非常に楽しかった、機会があれば、また開催して欲しいという声が多かったようです。ブロック交歓会は他楽団の演奏を楽しみ、互いに学びあい、交流を深める良い機会でした。和気あいあい、思いで深い一日になりました。(市原 松永恒文記)



(左上) サクソアンサンブル

(右上) 東金シニアアンサンブル

(左下) 上総シニアアンサンブル

新型コロナウイルスにより延期になった演奏会

- ◇ つくばシニアアンサンブル 3月28日→未定
- ◇ ポニーアンサンブルかつしか 4月4日→10月8日(木)
- ◇ 市川シニアアンサンブル 5月19日→9月24日(木)
- ◇ 牛久シニアアンサンブル 5月24日→11月18日(水)

